



通学路のいたるところで、秋を感じるようになってきましたね。
秋といえば、みなさんは何を連想しますか？

読書の秋、スポーツの秋、それとも食欲の秋

でしょうか？

図書館では、企画展示コーナーに、秋にちなんだいろいろな本を紹介しています。紹介している本は貸出できます。借りたい本は、カウンターまで持ってきてください。ぜひ自分にぴったりな本を見つけてくださいね。



10月の図書目標:「図書のなかま分け(日本十進分類法)を知ろう」

みなさんは、4月に習った本のなかま分け(日本十進分類法に基づく分類)を覚えていますか？図書館の本は、並べ方の決まりにそつて(ラベルに書かれている番号順に)並べられています。図書館の入口に、分類についての説明が書かれた新聞を掲示しています。



来月の読書時間では、ブック・bingoをします。bingoの紙に各分類の本を借りるようにお題が書かれています。今うちに、どの分類の本がどこにあるか、それぞれの分類にはどんな本があるか確認しておきましょう。

あなたのおすすめの本は何ですか？



最近、「なんかおもしろい本はありますか?」「おすすめの本はないですか?」という質問をよく受けます。本を返しに来たときに、「おもしろかったです！ほかにもなにかありませんか?」と言われると、とてもうれしい気持ちになります。

みなさんも、自分が読んでおもしろかった本、感動した本など、おすすめの本を紹介してみませんか？

図書館内に、おすすめの本を書く紙とポストを用意しています。

あなたのおすすめの本を書いて、ポストに入れてください。



家読(うちどく)ってなに？

毎週木曜日は、「立花っ子を育てる読書の日」です。「家読(うちどく)」の宿題がでていると思いますが、そもそも「家読(うちどく)」とはなにか覚えていますか？

「家読(うちどく)」とは…おうちの人と読書の時間をともにすること

「家読(うちどく)」とは、「家庭読書」の略語で、家族で読書を通してコミュニケーションを図る(その習慣をつける)ことです。基本は家族みんなで読書をし、読んだ本について話します。週に一度は、家族で読書をする機会をつくりましょう。

おうちの人と本を読んだ時は、「読書の記録」の読んだ人のところに、いっしょに読んだ人も書いておいてください。(「わたしとおばあちゃん」など)おうちの人が忙しくて、一人だけで読んだ場合は、「自分」だけで大丈夫です。本当に読んだ人だけを書きましょう。弟や妹に読み聞かせをした場合は、「ぼく(わたし)が弟(妹)に読んだ」と書いてくれるうれしいです。

